



ビオラ

冬～春緑／多年草（一年草扱い）／地被類等
／草本植物／外来種・園芸品種



科名 スミレ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

可憐な花をたくさんつけ、花の少ない冬から6月まで咲き続ける。パンジーに比べ小輪だが、寒さに強く丈夫で、花数が多く株がまとまりやすい。また、原種に近いいため自然風の配植に合わせやすい。寒冷地では多年草だが、夏に暑くなる日本では、一年草扱いとし配植される。



花(淡紫系)



花(黄系)



新品種



新品種

Memo

花はパンジーより小振りだが、パンジーとビオラ間で容易に交配するため区別できない品種もある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
花 期		■											■	
果 実		(採種する場合以外、花殻は摘み取る)												
紅 葉														
施 肥		■						(開花中は液肥を継続)						
剪 定		(花殻と傷んだ葉の切除)												

好みの環境				
日 当 り	陽	○	○	陰
土 壌	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

日当たりと水はけがよく肥沃な場所に植えるとよく咲き続け、花壇や寄せ植え、縁取りにも利用できる。秋から植えた株は、根を十分に張ることができるので、春になってからの花付が格段によくなる。

剪定

花期が長いため、花殻を付けておくと株に負担がかかる。咲き終えた花殻は付け根から切除すると見栄えも良くなる。同時に、10日に1度程度液肥を与えるとよく咲き続ける。

病虫害

春先にナメクジにより花が食害を受けることがある。[ツマグロヒョウモン](#)（タテハチョウの一種）の幼虫の食草。